

歩行虫殺虫処理

歩行侵入虫対策とは？

徘徊性の虫が屋外から侵入してくる経路は、その習性・生態から、以下の順となります。

①発生源→②建物外周→③出入口・隙間→④屋内

本施工は、このうちの②の段階で薬剤に接触させ、殺虫することで、屋内への侵入を防止させるものです。 **コオロギ**



ダンゴムシ



ゲジ



ムカデ

粉剤処理

ムカデ、ヤスデ、ダンゴムシ、ワラジムシ、ゲジ、アリなどの歩行性不快害虫専用の殺虫剤

散布中に空中に飛散しにくい重質粉剤

ピレスロイド様殺虫原体「エトフェンプロックス」とカーバメート系殺虫原体「カルバリル」の2成分が害虫の異なるポイントに作用し、住宅周りの不快害虫を確実にシャットアウト



液剤処理

有効成分であるβ-シフルトリンはピレスロイド系殺虫剤の中でも高い殺虫効果があります。また、残効性にも優れており、1ヶ月以上効果がみられます。

※雨風や、直射日光の当たる場所など環境によって短くなります。

※虫に直接薬液をかけても即効（瞬時）には死にません。徐々に中毒を起こして、数時間後に致死します。



剤形	長所	短所	適した場所	処理方法
粉剤・粒剤	効果持続期間が長い。	風が強い場所では飛散する。	緑地土壌 砂利・舗装	外壁の壁際に幅5～10cmで帯状に散布
液剤	薬剤飛散が起きにくい。	シミのような汚れが付くことがある。	砂利・舗装	水で希釈した薬剤を外壁面に高さ30cm程、幅50～100cmで帯状に散布